

地域全体での子どもの見守りについて

◆高知県版地域学校協働本部の設置推進について

～高知県版地域学校協働本部設置に向けたロードマップ モデル校の取り組みを踏まえて～

H30年度からの展開

全ての小中学校・義務教育学校に、高知県版地域学校協働本部の設置を目指す。

H30年度

連携指導主事等による取組状況調査に加え、学校経営計画のPDCAの仕組みを活用

地域本部未設置校 (51校)

学校支援地域本部設置校 (241校)

4月 学校経営計画

学校経営計画に「高知県版地域学校協働本部」の要件を参照し位置づけ

①充実した学校支援活動の実施

(4項目100日以上活動計画作成)

②学校と地域との定期的な協議の場の確保

(学校の課題を共有し話し合う場)

③民生・児童委員の参画による見守り体制の強化

(見守りの仕組みづくり(4つの見守り体制))

高知県版地域学校協働本部への展開

各市町村推進校

4～6月

- 学校経営計画に設置スケジュール等を明記【学校】
- 学校訪問等による状況確認【連携指導主事】

7～9月

- 各市町村教育長訪問・要請【生涯】
- 設置要請活動
- PTAへの説明【連携指導主事】

10～12月

- 学校との設置計画の再確認【生涯・連携指導主事】

1～3月

- 次年度設置校への助言・支援【連携指導主事】
- 各市町村教育長訪問次年度取組方針の共有

【目標】
H31 +22校
90%へ

活動内容の充実

- 事業実施計画への助言・指導【連携指導主事】

- 訪問等による実施状況の検証・見直し【生涯・連携指導主事】

- 次年度計画作成への支援【生涯・連携指導主事】

地域人材の確保

- 学校、市町村、連携指導主事、人材バンク4者による情報交換

- 県内6ブロックPTA 連合会に事業説明、ボランティア登録呼び掛け

- 各市町村社会福祉協議会を訪問し事業説明・ボランティア登録呼び掛け【生涯・連携指導主事】

全ての市町村での、高知県版地域学校協働本部（市町村推進校）の設置を目指す。

H30年度4～5月

- 各市町村教育長及び学校長訪問・スケジュール確認【生涯・連携指導主事】
- 推進校の状況(特色・課題・希望等)の確認・助言・支援【連携指導主事】
- 市町村虐待対応部署・社会福祉協議会・民生児童委員協議会等に取組説明・参加依頼

6月

- どのような見守り体制にするか仕組みを協議
- 学校と地域との協議の場を設置
- 学校のニーズに応じた学校支援活動の検討

7～9月

- チーム学習会等で見守りの仕組み等について、民生児童委員やボランティア等に周知【推進校・連携指導主事】
- 見守り活動の開始
- 学校と地域との協議
- 多様な学校支援活動の実施・展開

10～12月

- 見守り状況の把握、個別課題への助言・指導【連携指導主事】
- 取組状況の中間確認・整理・検証作業【県教委主導、市町村主体】
- 推進校を設置した取組経験をもとに、市町村毎に、H31年度からの高知県版地域学校協働本部の設置計画を作成【市町村主体】(12～1月)

1～3月

- H31からの取組に向けての事前調整・準備【市町村】
- 各市町村の設置計画をもとに、H31年度からの県全体の設置計画を検討・作成【県教委】(2月)

【目標】
H30 +28校

H29年度 11～3月

- 各市町村教育長等への市町村に合った推進校の取組への参加依頼・説明【生涯】(11～1月)
- 教育長等に意向を確認
- 推進校の選定・各教育長等との協議(1～3月)
- 推進校の校長との協議(2～4月)

★学校や地域の特色・資源を生かして、地域全体で子どもを見守る取組を実施

H31年度から

各市町村で推進校の取組のノウハウを生かし、設置計画に基づいた高知県版地域学校協働本部の設置を推進。